

## 第3学年国語科学習指導案

日 時 平成26年10月2日(木) 公開授業1  
児 童 3年生 男子8名 女子4名 計12名  
授業者 小 山 佳奈子

### 単元名 物語の感想を話し合おう

#### ○中心学習材 「ちいちゃんのかげおくり」(光村3年下)

#### 1 単元の目標

- ◎場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちや情景を想像して読むことができる。〔読ウ〕
- 物語を読んだ感想を発表し合い、一人一人の感じ方に違いのあることに気付くことができる。〔読オ〕

#### 2 単元を貫く言語活動の特徴

本単元では、「心に残った場面」「登場人物へのメッセージ」を盛り込んだ「感想カード」をもとに、物語から思ったことや考えたことを交流する言語活動を設定する。

この言語活動に取り組むことは、登場人物の境遇や状況などの場面を整理しながら、登場人物の行動や言葉、情景といった叙述をもとに、自分が感じたことや物語から受け取ったことを感想として表現することになる。したがって、場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちや情景を、叙述をもとに想像して読むことにつながるものであると考えた。

#### 3 単元について

##### (1) 児童の実態

児童はこれまでに、第3学年で「きつつきの商売」と「海をかつとぼせ」の文学的文章を中心学習材として取り上げ、場面の様子が伝わるような音読をする活動や登場人物の性格や気持ちについて自分と比較しながら感想にまとめる活動に取り組んできた。これらの学習により、場面の様子を音読で表現したり、登場人物について思ったことを説明したりすることが少しずつできるようになってきている。

しかし、場面の様子を前後の場面と比べて説明したり、登場人物がどのような思いや願いをもって行動しているのかまで意識して読んだりすることまでは至っておらず、場面の移り変わりにともなった登場人物の気持ちを想像させる指導が必要であると考えた。

##### (2) 学習材について

中心教材「ちいちゃんのかげおくり」は、児童が初めて出会う戦争教材である。家族そろってかげおくりをする場面、ひとりぼっちになってしまう場面、母と兄の帰りをまつ場面、一人でかげおくりをする場面、数十年後の場面と、場面の移り変わりや情景をとらえやすい構成になっているため、場面の移り変わりとともに変化するちいちゃんの気持ちを想像し、自分と比べて読み進めていくことができると考える。また、家族という身近な存在が描かれた作品であるため、児童の心を動かす作品である。

これらのことから、中心学習材「ちいちゃんのかげおくり」は、場面や登場人物の設定をとらえながら、中心人物の気持ちに添って読み進めることができる作品であると考えた。また、戦争を題材とした他の物語を並行読書として読むことは、ちいちゃんのかげおくりを読み進めるにあたり、ちいちゃんの気持ちや自分が考えたことを整理し、物語から伝わってくるメッセージを深く考えることにつながるものと考えた。

### (3) 指導にあたって

第1次では、まず読書によって考えたことを伝え合う「感想カード」のモデル提示をし、感想を伝えるよさに触れさせたい。その際には、登場人物の心の動きや印象的な場面を効果的に紹介する方法を具体的に示し、見通しをもたせることによって活動への意欲を高めたい。

第2次では、中心学習材「ちいちゃんのかげおくり」を読み、心に残った場面や言葉を叙述を基に書き表す感想の伝え方を身に付けさせる。また、ちいちゃんへのメッセージを書く際には、自分の状況と比べながら書かせ、全体での交流を通して登場人物の気持ちを想像して読むことができるように指導する。

毎時間のふりかえりの場面では、自分が選んだ物語に「ちいちゃんのかげおくり」で学んだ読み方を生かせるかを確かめさせ、難しい場合はその児童が選んだ物語の特徴に合わせて支援していきたい。

第3次では、戦争を題材にした物語について「感想カード」を作り、交流する活動に取り組みさせる。児童にとって戦争は理解が難しい題材であることから、中心学習材「ちいちゃんのかげおくり」と選んだ物語と比べて、場の設定や登場人物について共通しているか、違うとしたらどのような点かを確認しながら物語の特徴に合わせて支援していきたい。また、交流場面では、はじめに同じ物語を選んだ児童を同じグループとして交流させ、その後ワークショップ形式で他の物語を選んだ児童と交流させることによって、感想を深めて伝えられるようにしたい。

## 4 本単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>戦争を題材とした物語を読んで、心に残ったところに着目しながら感想を述べようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦争を題材とした物語の登場人物の気持ちや情景を想像しながら読んでいます。〔読ウ〕</li> <li>戦争を題材とした物語の感想を、どの叙述に基づいているかを明らかにしながら発表し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付いている。〔読オ〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意味が似ている語句、関係性のある語句について理解し、内容理解を深めている。〔伝国イ（オ）〕</li> </ul>

## 5 学習指導計画（全12時間）

	主な学習活動	読みの視点	評価《 》評価方法
第1次 (2時間)	第1時	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品から受け取ったメッセージ(強く思ったり感じたりしたこと)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関 物語の感想を書くための観点を考えている。《態度・ノート》</li> </ul>
	第2時	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定(時、場、人物)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関 感想カードの手順をとらえている。《態度》</li> <li>読 自分の感想がどの場面にあたるのかを考えている。《発表・ノート》</li> </ul>
第2次 (6時間)	第3時	<ul style="list-style-type: none"> <li>構造(あらすじ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読 物語の全体をとらえている。《発表・ノート》</li> </ul>

	第4時	・情景やちいちゃんの行動や会話を確かめながら、場面が変わった部分をとらえる。	・設定 (時、場、人物)	読 場面の情景やちいちゃんの行動や会話に着目して場面を分けている。《態度・ノート》
	第5時	・心に残った場面を見つけて感想カードにまとめる。	・言語表現 (心に残った表現)	読 ちいちゃんの気持ちや情景を想像している。《ノート・感想カード》
	第6時 (本時)	・心に残った場面について、交流を通して理由をまとめる。	・設定 (人物の気持ち)	読 心に残った場面について、情景や登場人物の気持ちを想像して理由をまとめることができる。〔読む〕《発表・感想カード》
	第7時	・自分の感じたことを基にして、ちいちゃんへのメッセージを書く。	・作品から受け取ったメッセージ(強く思ったり感じたりしたこと)	読 自分の状況・生活の様子と比べながら、ちいちゃんへのメッセージを書いている。《ノート・感想カード》
	第8時	・ちいちゃんへのメッセージを交流する。		読 「ちいちゃんのかげおくり」の感想カードを交流し、物語に対する一人一人の感じ方の違いに気付いている。《発表・ノート》
第3次 (4時間)	第9 10 11時	・自分が選んだ戦争を題材にした物語について、心に残った場面や中心人物へのメッセージを感想カードにまとめる。	・言語表現 (心に残った表現)	関 戦争を題材とした物語の心がひかれるところに注目しながら感想カードをまとめようとしている。《態度》
	第12時	・感想カード発表会を行い、感想を交流する。 ・単元のふりかえりをする。	・設定 (人物の気持ち)	読 場面の移り変わりに注意しながら、心に残った場面、中心人物へのメッセージを感想カードにまとめている。《感想カード》
			・構造 (あらすじ)	関 物語を読んで、心に残ったところや中心人物へのメッセージを考えながら感想を発表している。《態度》
			・設定 (時、場、人物)	読 文章を読んで考えたことを発表し、一人一人の感じ方に違いのあることに付いている。《ノート》
			・作品から受け取ったメッセージ (強く思ったり感じたりしたこと)	

## 6 本時の指導

### (1) 本時の目標

- ・心に残った場面を交流し、ちいちゃんの気持ちや場面の情景を、叙述を基に想像して読むことができる。〔読む〕

### (2) 確かに読み取るための読みの視点

- ・心に残った情景やちいちゃんの行動に着目して読む。【言語表現】【設定】

### (3) 展開

段階	学習活動・学習内容	指導上の留意点
みとおす 7分	1 前時の想起をする。 2 本時の学習課題を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心に残った場面の文や語句を提示し、一人一人の感じ方の違いがあったことを振り返らせる。</li> <li>・心に残った場面が同じ場合でも、わけが違うこともあり得ることを知らせる。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">心にのこった場面のわけを書こう。</div>	
ふかめる 30分	3 学習課題を解決する。 (1) 前時で出し合った心に残った場面を確認する。 (2) 紹介する場면을音読する。 (3) 心に残った場面のわけを考える。 (4) 場面毎にわけを全体で交流する。 (5) 自分の心に残った場面のわけを整理して書く。 (6) 心に残った場面のわけを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選んだ文や言葉がどこの場面なのかを確かめさせる。</li> <li>・ペアになって紹介する場面の音読を聞き合わせる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">       心に残った情景やちいちゃんの行動に着目して読む。  <b>【言語表現】【設定】</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わけを考える際に、教師の感想カードのモデルを提示し、書き方のイメージを持たせる。</li> <li>・隣同士でわけを紹介させる。</li> <li>・友達を選んだ言葉や文から考えたことがある場合は発表させる。</li> <li>・場面の様子や登場人物の気持ちを具体的に考えさせる。</li> <li>・文や語句を付け加えて、感想カードに書き込ませる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <b>評価規準</b>        心に残った場面について、情景や登場人物の気持ちを想像して理由をまとめることができる。〔読む〕《発言・感想カード》     </div>
まとめる 8分	4 学習のふりかえりをする。 5 次時の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分で選んだ本で感想カードを作る学習に生かせること」について以下の観点で振り返らせる。</li> </ul> <p>①心に残った場面の文や言葉を、わけをつけて説明できたか。②自分が選んだ物語でも自力でできそうか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>ふりかえり例</b>        心にのこった場面のおすすめの文や言葉を選んだわけをせつめいすることができました。自分がえらんだ本でもできそうです。《発表・ノート》     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の選んだ本では難しいと考えている児童には、後で個別に相談にのることを伝える。</li> <li>・モデルの「感想カード」を提示して、次時の学習はちいちゃんへのメッセージを書くことを確認させる。</li> </ul>

(4) 板書計画

ちいちゃんのかげおくり

あまんきみこ

④ 心にのこった場面のわけを書こう。

出征する前の日  
四人ではかまいりをする場面

ちいちゃんが  
ひとりぼっちに  
なる場面

暗いぼうくうごうで  
ちいちゃんが  
母と兄の帰りをまつ場面

ちいちゃんが  
ひとりでかげおくりを  
する場面

小さな公園で  
子ども達が  
あそんでいる場面

児童のおすすめの文

心にのこったわけ

⑤ 心にのこった場面の文や言葉を、わけをつかってせつめいできたか。  
自分がえらんだ物語でもできそうか。